

# 化学物質の 子どもガイドライン

～施設管理者・害虫防除事業者の皆様へ～

## 《殺虫剤樹木散布編》



このガイドラインは、子どもの身近な環境における樹木散布用殺虫剤の影響を減らすために、**子どもが多く利用する施設(学校、幼稚園、保育園、児童遊園など)**の管理者や害虫防除事業者が**取組む具体的内容**を示したものです。

**その他の施設や家庭での害虫駆除の際にも参考にしてください。**



東京都環境局

## 1

# 殺虫剤散布に関して意見交換と 情報提供を行ないましょう

## 殺虫剤の使用に関する基本的な方針を作りましょう

(ア) 子どもたちが多く利用する施設の管理者（以下「施設管理者」という。）は、害虫防除を実施する時期よりも以前に、以下のような内容を検討し、施設で行なう害虫防除の方法や殺虫剤の使用について、基本的な方針を決めておきましょう。

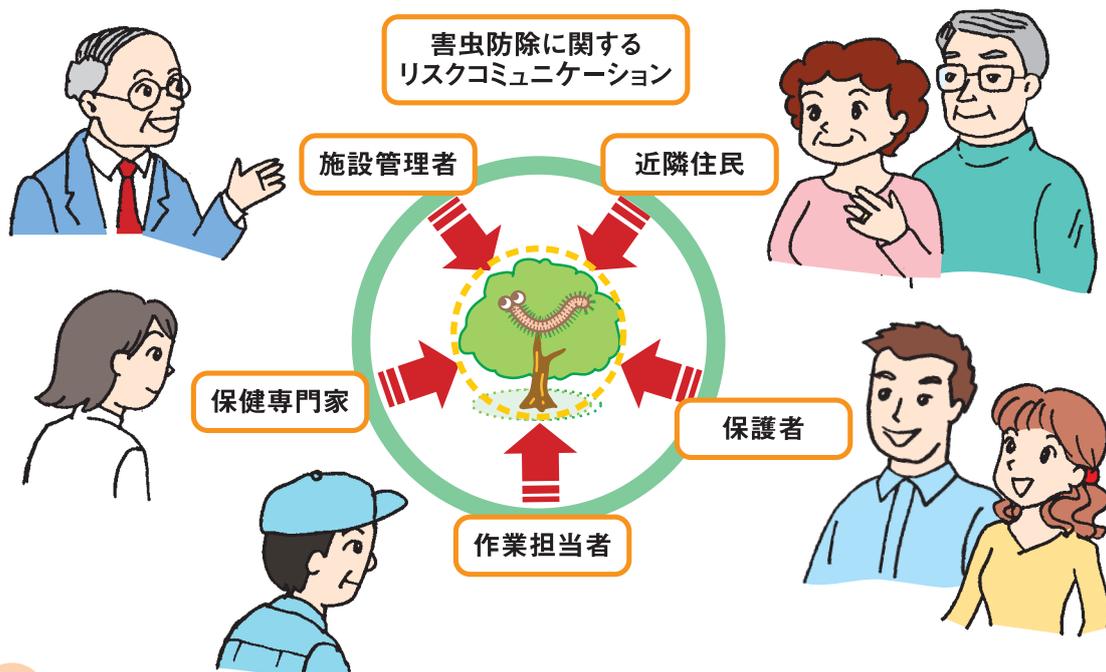
- 施設内に発生する可能性のある害虫の種類と予想される被害
- 害虫発生状況の確認手順
- 害虫防除を実施する対象及び防除方法
- 殺虫剤を散布する可能性がある場合はその実施基準
- 散布予定殺虫剤の選定方法

(イ) 施設管理者は、方針を決める際に、必要に応じて植栽管理の専門家や保健の専門家（あるいは学校保健委員会などの機関）及び作業担当者に意見を求めましょう。

## 殺虫剤の使用に関する基本的な方針を広くお知らせしましょう

(ア) 施設管理者は、方針を決めた後、速やかに配布物や掲示板などで近隣住民や保護者等の関係者にお知らせしましょう。

(イ) 施設管理者は、関係者から問い合わせがあった場合には、十分な説明を行なうなど、方針について理解を得られるようにしましょう。



殺虫剤を散布する場合は事前に十分な情報提供をしましょう

- (ア) 施設管理者は、殺虫剤を散布する際には、近隣住民や保護者等の関係者に配布物などで事前にお知らせしましょう。
- (イ) 施設管理者は殺虫剤散布の記録を保管し、要望があれば公開できるようにしましょう。

お知らせ・注意事項に関する掲示内容の例

殺虫剤散布のお知らせ	
日 時	〇〇月××日 午前▲▲時～△△時(予定)
場 所	校庭東側(サクラ10本)
害虫の状況	・毛虫(アメリカシロヒトリ)が大量発生
散布殺虫剤	ディプテレックス乳剤(DEP:トリクロルホン) 1500倍希釈液 約100リットル ★有機リン系(散布液を浴びないよう注意)
<p><b>次の気象条件の場合、散布を延期あるいは中止</b></p> <p>◆雨が降っている      ◆雨の予報が高確率である ◆強い風が吹いている   ◆近隣に影響を及ぼす風向である</p>	
<p><b>散布を実施した場合</b></p> <p>★週末の校庭開放は中止します ★□□日までは散布した木の下で遊ばないでください ★校庭で遊んだあとは、せっけんで手を良く洗い、うがいをしましょう ★散布場所に近づいて気分が悪くなった場合(めまい、吐き気など)には、離れて新鮮な空気を吸いましょう</p>	
安全管理責任者	▲▲小学校 校長 ○○ ○○
作業担当者	○○造園(株) 電話XXX-XXXX
構内図	<p>○ 散布対象樹木</p> <p>The diagram shows a school layout with a blue rectangular building labeled '校舎' (School Building) and a yellow rectangular building labeled '体育館' (Gymnasium). A large orange oval represents the schoolyard. Several green tree icons are scattered around the schoolyard. A red dashed circle highlights a cluster of trees on the right side of the schoolyard, indicating the target area for spraying. A legend at the top left of the diagram shows a red dashed circle next to the text '散布対象樹木' (Spraying target trees).</p>

## 散布による殺虫剤への 子どもの接触を減らしましょう

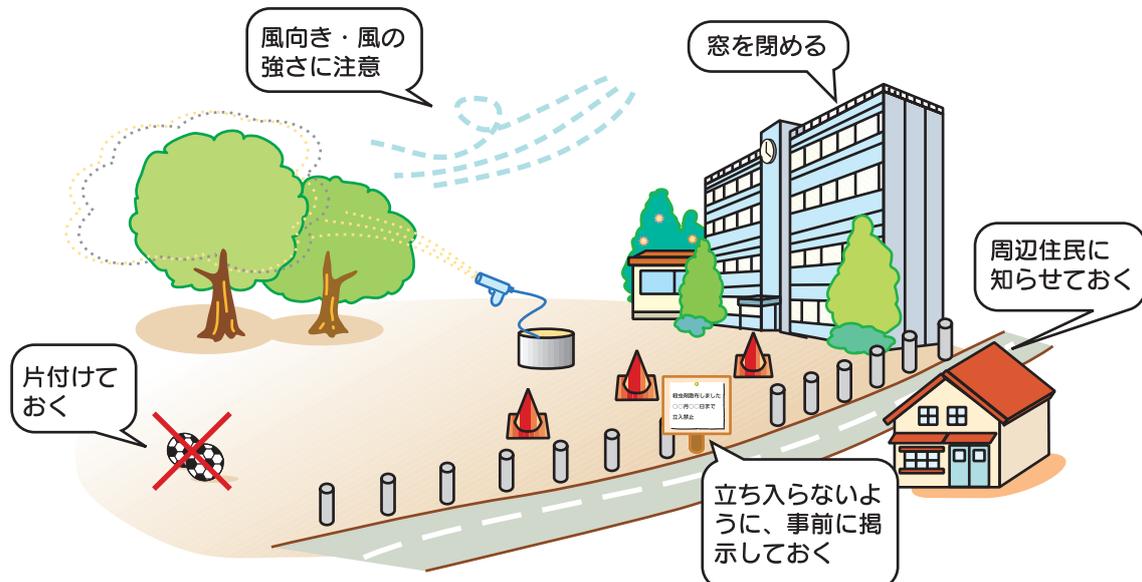
殺虫剤による影響を防ぐには、殺虫剤への接触を避けることが重要です。  
このため、殺虫剤を使用する際には、以下の項目を検討し、施設管理者が責任を持って安全管理を行うようにしましょう。

### 殺虫剤散布を実施する場所に注意事項を掲示しましょう

施設管理者は、注意事項（2ページの掲示内容例を参照）を見やすい場所（出入口や散布作業場所近辺）に事前に掲示しておき、散布作業終了後も、1週間程度引き続き掲示しましょう。

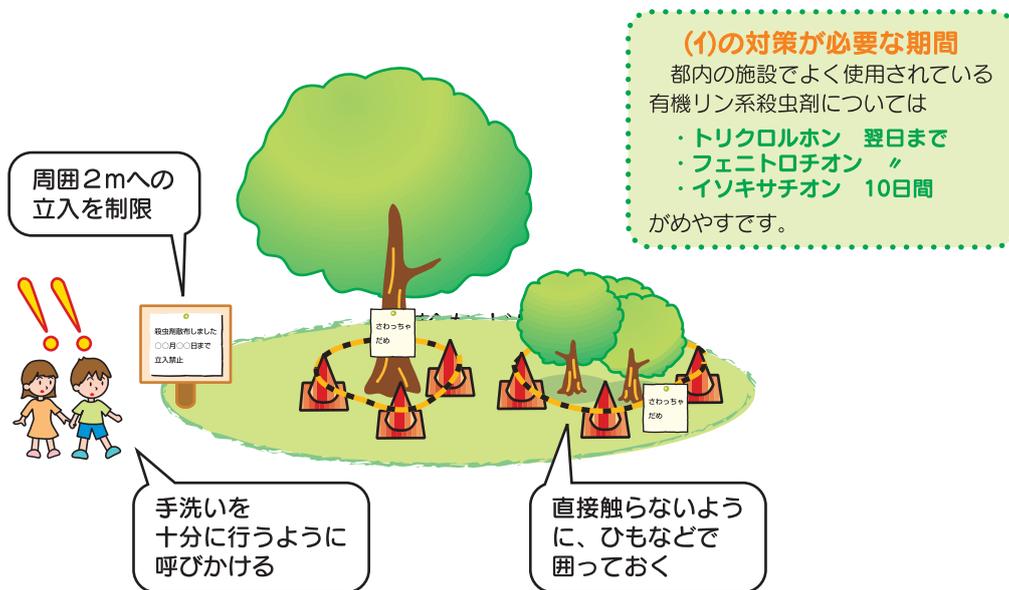
### 殺虫剤の飛散による子どもへの影響を防ぎましょう

- (ア) 施設管理者および作業担当者は、建物内へ殺虫剤が飛散して、子どもが吸い込んだり、子どもの持ち物等へ付着することを避けるため、散布前に、窓を閉める等の対策を行いましょ。また、ボールなどの屋外で遊ぶ遊具は片付けておきましょう。
- (イ) 作業担当者は、散布時に作業範囲内に子どもが入らないように対策を取り、常に周囲を監視しましょう。
- (ウ) 作業担当者は、風向を確認し、周辺の住宅、交通等の状況を考慮して、近隣の住民や歩行者への影響をできるだけ防ぎましょう。



殺虫剤を散布した後は立入制限などで子どもの接触を防ぎましょう

- (ア) 施設管理者は、殺虫剤を散布した当日とその翌日は、子どもが散布した樹木に近づかないように、周囲（およそ2m）への子どもの立ち入りを制限しましょう。
- (イ) 施設管理者は、散布後しばらくの期間、子どもが散布した樹木に触れないように、周囲にロープを張るなどの対策を行いましょう。
- (ウ) 施設管理者は、子どもに対し、期間内に散布した樹木の葉、幹などに触った場合には、石けんで十分に手を洗うよう呼びかけましよう。



家庭での殺虫剤散布でも、その必要性を慎重に検討しましょう

- 家庭園芸などで殺虫剤を散布するときには、使用する殺虫剤の効果や一般的な有害性について、取扱説明書やラベルの注意書きをよく読むほか、行政機関や図書、インターネットなどを活用して情報収集するようにしましょう。また、近隣に子どもなど影響を受けやすい方がお住まいでないかを確認し、必要があれば、収集した情報をもとに話し合いましょう。
- 購入した殺虫剤は、一般ごみとしてそのまま捨てることは出来ません。特にスプレー缶など噴射式のものについては、噴射し切るまで捨てることが出来ず、使いたくなくなったときに困ることになります。このため、購入にあたっては、使用量や害虫の種類を考えて検討しましょう。

# 殺虫剤を使わない 害虫防除法も取り入れましょう

日ごろから、樹木が健康に育つように管理し、以下の項目を実施しましょう。  
労力も手間暇もかかる作業ですが、学校などでは子どもと一緒に取り組む  
ことで環境学習の効果も期待できます。

## 被害予測

施設内の樹木の種類を確認し、発生しやすい害虫と被害の内容および発生時期を資料などで調べておきましょう。

## 早期発見

発生する時期に樹木をよく観察し、幼虫の発生の有無を確認しましょう。害虫の種類によって食害や生態が異なるので、特徴を踏まえた上で、観察を行いましょう。

### 屋外樹木に発生しやすい害虫（ケムシ）の例

種類	発生しやすい樹種	発見のポイント	外見	防除法と注意点
チャドクガ (有毒)	ツバキ、サザンカ、チャ	・葉表に整然と並んでいる。		ふ化したばかりの幼虫は集団でいるので捕殺しやすい。幼虫、成虫、抜け殻などに残る毒毛針に注意する。
マツカレハ (有毒)	マツ類	・集団で新芽を食害するため、被害部分が塊状になる。 ・枝の先に茶灰色のマユを作る。		幼虫の捕殺（マツの剪定には要注意）。越冬幼虫をこも巻きで誘殺。毛針に注意する。
イラガ (有毒)	サクラ、カキ、ウメ、カエデなど	・集団で葉裏に寄生し食害するため、葉が透かし状になる。 ・地面に黒い虫糞が無数に落ちている。		冬期に越冬しているマユを捕殺する。若齢幼虫時は集合しているため、寄生葉を取り除く。
アメリカシロヒトリ	落葉広葉樹ほか多数	・葉を糸でつづり合わせた巣網を作る。 ・葉脈を残して食害するので、葉が透かし状になる。		巣網を切除する。分散前の幼虫を枝ごと切り落とすか、たいまつで焼く。
モンクロシヤチホコ	サクラなどバラ科植物	・葉に並んで群生するので、よく観察する。		分散前の幼虫を枝ごと切り落とす。



### 早期判断

害虫の種類に応じて、防除方法を選択しましょう。被害が小さいうちであれば殺虫剤を使う必要性は少なくなります。

なお、チャドクガやイラガ、マツカレハのように強力な毒をもつ害虫を取り扱う場合には、作業者への被害を十分考慮して方法を検討しましょう。

### 早期防除

安全に注意して作業を行ないましょう。手間のかかる作業については、関係者が作業担当者に積極的に協力するようにしましょう。

### 捕殺

高枝切りばさみ、剪定ばさみ等を利用し、害虫がついた葉、枝を剪定し、切断した枝葉はビニール袋等に収集します。

チャドクガは、卵、幼虫、成虫のいずれも強力な毒をもっています。振動を加えると毒毛針が飛散するため、完全防備が必須です。無理な捕殺は危険ですので注意しましょう。

また、モンクロシャチホコなどは、枝に振動が加わると糸を吐いて落下し逃げるので注意が必要です。



### たいまつによる焼却

長くて軽い金属製棒（アンテナの廃材等、アルミ製品）の先に、ぼろ布、そうぎんを巻き付け、灯油に浸し、火をつけ、毛虫を焼きます。効果は高いのですが、マツやスギは枝が燃えやすく火災のおそれがあるため注意しましょう。

### こも巻き

マツカレハにはこも巻きによる捕獲（バンド誘殺法）が効果的です。マツカレハの幼虫は針葉樹の葉先でふ化した後、10月中旬頃から、樹皮の割れ目や枯れ葉の下で越冬します。そのため、10月初旬ころまでに、地面から1mほどの高さの幹にこもを巻き、マツカレハの幼虫を誘引します。

2月下旬までにこもを外して、樹皮やこもに入り込んでいる幼虫をほうきや割り箸等を使って捕獲します。





● 問い合わせ先 ●

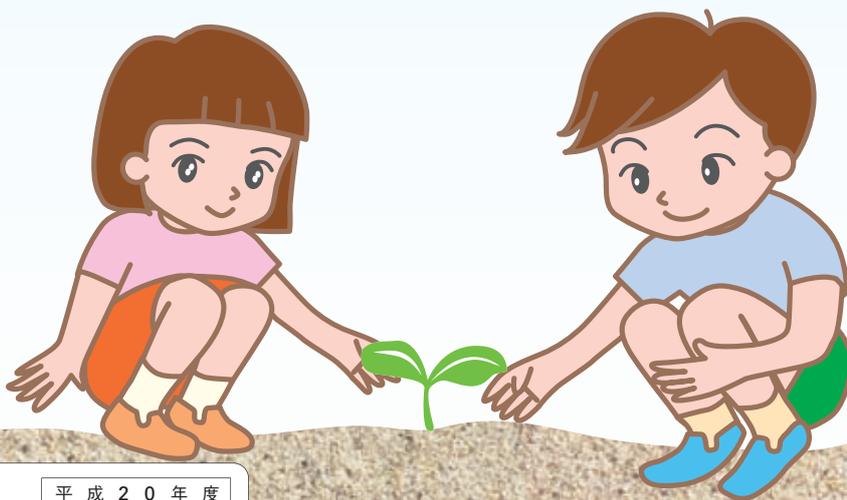
**東京都環境局環境改善部化学物質対策課**

〒163-8001 新宿区西新宿2-8-1

☎ 03-5388-3503

環境局ホームページ <http://www.kankyo.metro.tokyo.jp/>

子どもガイドラインホームページ <http://www2.kankyo.metro.tokyo.jp/chem/kids/>



平成21年3月 発行

平成 2 0 年 度

登 録 第 1 3 3 号

環 境 資 料 第 20053 号

**化学物質の子どもガイドライン** 《殺虫剤樹木散布編》

編集発行 東京都環境局環境改善部化学物質対策課  
〒163-8001 東京都新宿区西新宿2丁目8番1号  
電話 03-5388-3503

印 刷 シンソー印刷株式会社

**R100**

古紙配合率100%再生紙を使用しています。  
石油系溶剤を含まないインキを使用しています。

